

バインド

Apache が使用するアドレスとポートの設定をします。

トピック

概要.....	1
IPv6 の特記事項.....	2
バーチャルホストに対してどう働くのか.....	2
URI References.....	2

参照

- バーチャルホスト ¹
- DNS の問題 ²

概要

関連モジュール	関連ディレクティブ
<code>core</code>	<code>VirtualHost</code>
<code>mpm_common</code>	<code>Listen</code>

Apache は起動時に、ローカルマシンのあるポートおよびアドレス に対して接続し、リクエストが来るのを待ちます。 デフォルトではマシンのすべてのアドレスに対して `listen` します。 しかしながら、特定のポートか、特定のアドレスのみか、 またはそれらの組み合わせのいずれかを `listen` するようにする必要があります。 これは、異なる IP アドレス、ホスト名、ポートに対する Apache の応答方法を決定するバーチャルホスト機能と組み合わせて使われます。

`Listen` ディレクティブで、特定のポートやアドレス・ポートの組からのみ入ってくる リクエストを受け付けるようにできます。 もしポート番号のみが `Listen` ディレクティブで指定された場合は、 すべてのインターフェースの与えられたポート番号を `listen` します。 IP アドレスがポート番号と同時に与えられた場合は、 サーバは与えられたポートとインターフェースを `listen` します。 複数の `Listen` ディレクティブを用いていくつかの `listen` するアドレスとポートを指定できます。 サーバはリストされたアドレスやポートからのすべてのリクエストに 対して応答します。

たとえば、ポート 80 と 8000 の両方に対しての接続を受け付けるには

```
Listen 80
Listen 8000
```

とします。 二つの指定されたインターフェースとポート番号に対しての接続を受け付けるには、

```
Listen 192.170.2.1:80
Listen 192.170.2.5:8000
```

とします。 IPv6 アドレスは、角括弧で次の例のように囲まなければいけません。

```
Listen [fe80::a00:20ff:fea7:ccea]:80
```

IPv6 の特記事項

APR が IPv6 をサポートする場合は、Apache はデフォルトで IPv6 を listen するソケットを作ります (例えば Listen ディレクティブで IP アドレスが無指定の場合)。つまり、APR が IPv6 をサポートしている場合、

```
Listen 80
```

は、次と同じ意味になります。

```
Listen [::]:80
```

APR が IPv6 をサポートしていない場合は、

```
Listen 80
```

は、次と同じ意味になります。

```
Listen 0.0.0.0:80
```

NetBSD 等のいくつかのプラットフォームでは、IPv6 のワイルドカードアドレス (「::」) のバインドでは IPv4 インターフェースに接続を張れません。このような状況では、次のように複数の Listen ディレクティブが必要になります。

```
Listen 0.0.0.0:80
Listen [::]:0
```

Apache は現在これを自動検出することができないので、そのような場合は Listen 命令文は管理者が手動で編集しないといけません。

バーチャルホストに対してどう働くのか

Listen でバーチャルホストが実装されるわけではありません。Listen は単にメインサーバにどのアドレスとポートを listen すべきかを教えるだけです。<VirtualHost> ディレクティブが使われない場合は、受け入れたリクエストすべてに対して全く同じ挙動をします。しかしながら <VirtualHost> を使って、一つ以上のアドレスやポートに対して異なる挙動をするように指定することができます。VirtualHost を実装するには、使用するアドレスとポートを まず初めにサーバに通知しなければなりません。そして、その指定したアドレスとポートでの このバーチャルホストの挙動を設定するために、<VirtualHost> セクションを作ります。もし <VirtualHost> が listen していないアドレスとポートに対して設定されてしまうと、それにはアクセスできないということに注意してください。

URI References

バインド

[1] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/>

[2] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/dns-caveats.html>